

1 主イエスを愛する事は
私の力です

感謝をささげる事は
私の力です

* 朝に夕にとこしえまでも
王なる主をたたえましょう
朝に夕にとこしえまでも
王なる主をたたえましょう

2 主イエスを喜ぶ事は
私の力です
賛美をささげる事は
私の力です

主はぶどうの木 私は枝です

いつも離れずに

主はぶどうの木 私は枝です

豊かな実を結ぶ

み言葉に留まり 愛に生きるなら

この世は知るでしょう

主の救いといやし

主はぶどうの木 私は枝です

豊かな実を結ぶ

5 祈りのガイドライン

1. 賛美と感謝の祈り

父・御子・聖霊様を賛美し、歓迎します！

2. 悔い改めと主を慕い求める祈り

知って犯した罪も知らずに犯した罪も悔い改めて、
主の御前にへりくだります。

3. 個人的な願いの祈り

求めよ、そうすれば与えられます！という信仰で、
心の願いを主にお伝えします。

4. とりなしの祈り

コロナの完全終息のためにお祈りください。
教会のすべての働きが祝福されますように！

- (1) 瀬戸カルバリーチャペルの礼拝のため
 - ・地域の方々に主の平安が届けられますように
 - ・牧師家族のため・ジョイキッズ・次世代のため
- (2) 家族・親族・友人知人・ご近所の方のために
- (3) 病いや困難と闘っている兄弟姉妹のため
- (4) 日本のリバイバル・大和カルバリーチャペルのため

完全な人はご遠慮ください。教会は、自分が罪びとであることを認め、恵みを必要とし、成長したいと願っている人たちの集まりです。

リック・ウォーレン牧師(5つの目的より)

瀬戸カルバリーチャペル

×Seto LIFE ART Studio

愛知県瀬戸市みずの坂5-64 0561-48-8899

牧師：倉知契 kei.kurachi@gmail.com



いま破竹の勢いで活躍中の藤井聡太さんは瀬戸市出身。彼が幼少に通ったカトリック「雪の聖母幼稚園」は、モンテッソーリ教育で、注目を集めました。この教育法はイタリアの医師マリア・モンテッソーリが、20世紀初頭に、知的障がい者への感覚教育法として始め、世界中に「子どもの家」という名称で広げられました。ちなみに、ヒフミンこと加藤一二三さんは、熱心なクリスチャンです。



祈りの小径(こみち)

Number:015 瀬戸カルバリーチャペル

イラスト:藤井聡太7段

「祈りの小径(こみち)」の名称は、愛知県瀬戸市・せともの街の名所「窯垣の小径」と、詩人・八木重吉の作品にある「祈りの路」から名付けられました。各ページにある数字の順に、賛美→聖書→黙想→解説→祈りを致しましょう。

2

今日の聖書のことば

ゆっくり読んで黙想しましょう。

ルカによる福音書16章10節

小事に忠実な人は、大事にも忠実である。そして、小事に不忠実な人は大事にも不忠実である。

ペテロの第一の手紙4章7～11節

4:7 万物の終りが近づいている。だから、心を確かにし、身を慎んで、努めて祈りなさい。
4:8 何よりもまず、互の愛を熱く保ちなさい。愛は多くの罪をおおうものである。4:9 不平を言わずに、互にもてなし合いなさい。**4:10** あなたがたは、それぞれ賜物をいただいているのだから、神のさまざまな恵みの良き管理人として、それをお互のために役立てるべきである。4:11 語る者は、神の御言を語る者にふさわしく語り、奉仕する者は、神から賜わる力による者にふさわしく奉仕すべきである。それは、すべてのことにおいてイエス・キリストによって、神があがめられるためである。栄光と力が世々限りなく、彼にあるように、アメン。

コリント人への第一の手紙12章8～10節

12:8 すなわち、ある人には御霊によって知恵の言葉が与えられ、ほかの人には、同じ御霊によって知識の言、12:9 またほかの人には、同じ御霊によって信仰、またほかの人には、一つの御霊によっていやしの賜物、12:10 またほかの人には力あるわざ、またほかの人には預言、またほかの人には霊を見わける力、またほかの人には種々の異言、またほかの人には異言を解く力が、与えられている。

3

黙想とこころの投影の時間

(感じたこと・恵まれたことをノートします)

Q. 神様はあなたにどんな賜物(才能や役割)をくださっていると思いますか？

Q. これまでその賜物に忠実でしたか？
また、その賜物に「ふさわしく」働くとはどういう意味でしょうか？(1ペテロ4の11)

Q. 聖霊様の賜物、関心があるものにチェックを！

- 知恵
- 知識のことば
- 見分ける力

啓示の賜物
・霊的洞察力
・聖書知識

- 信仰
- いやし
- 力あるわざ

力の賜物
・大胆さ
・霊的戦い

- 預言
- 異言
- 異言の解き明かし

口の賜物
・励まし
・御霊の祈り

4

みことばの解説

先週は、聖霊様の結び実(御霊の実)について学び、祈りました。それはあなたの「人格」を整え、「品性」を豊かにし、キリストと同じ似姿にまで変えていただきます(ローマ8章・2コリント3章)。

同時に、私たちは、それぞれが一步の木として存在しているのではなく、一つの森の木として生かされているので(ある意味そうでないと品性が豊かになる必要がない)、「キリストのからだ=教会」という全体の一部分として「賜物」がそれぞれに与えられています。

ルカ16章にあるように、その賜物と使命、役割がどんなに小さくても、それを大切にする人を、神様は喜んでくださり、さらに大きな責任を任せてくださいます。

1ペテロ4章にあるように、いまは「終わりの時」です。ですから私たちのすべきことは…

【1】努めて祈ること

【2】互いの愛を熱く保つこと(もてなし合う)

【3】賜物をよく管理し、お互いのために役立てる
この3つによって、すべてのことにおいて神様が崇められるという重要な目的のため。

皆様には、聖霊様によって賜物が与えられているのをご存知でしょうか？9つの御霊の実と同様に、9つの聖霊の賜物が1コリント12章に書かれています。それぞれに与えられた賜物が生かされ、ひとりひとりが主の働きに参与するときに、今日に具現化されるキリストのからだとしての教会が輝きます。そのために、自分にどんな賜物が与えられているか、祈り聞いてみるのはいかがでしょうか。それは「義務の賜物」ではなく、「恵みの賜物」(1ペテロ4の10)ですからご安心を。すべては十字架と復活で「完了」しています。でもなお、神様は、私たちと共に働くことを喜んでくださるのです！